

観音山



平尾小学校だより

第12号

令和5年12月15日

いっぱい話を聞いて いっぱい考えて いっぱい話したよ

12月12日(火)に山口力先生をお迎えして、3年生以上を対象に人権講演会を行いました。山口先生には、もう何年も続けて平尾小学校でお話をいただいているので、この会を楽しみにしている子ども大勢います。いろいろな例をあげて話していただく中で、「みんななら、どうする?」と問いかけられ、子どもたちそれぞれが一生懸命に考えていました。講演会のあと、職員対象の研修会も行っていたので、子どもたちも職員もたくさん学び、有意義な時間を過ごしました。

人けん集会で思ったことがいろいろあります。1つ目は、色がちがっていても、すごいことは同じなんだと学びました。2つ目は、心にも温度があることです。「ありがとう」「ごめんなさい」があると心があたたくて、ないと心が冷たいんだと思いました。これからもそういうのを大切にしていきたいと思います。(3年)



今日の集会では、人へのやさしさやいじわるさが伝わってくる話でした。自分が今日の話のようになったら、いやな気持ちになると思いました。人がやられてもいやになると思いました。自分もそういう人にならないように、ほかの人の悪口を言わないようにしたいです。(4年)

心の温度はすごく大事だと思いました。信号の話で、「赤は止まれ、青は進め、黄色は気をつけて」という意味で、それぞれ個性があって、助け合っていくのはとても大事なだと分かりました。たまごの話も人と同じで、顔やせいかがちがうのが個性だと分かりました。ロボットにはない感情を大事にしたいと思いました。これからも「ありがとう」「ごめんなさい」を大切にしたいです。(4年)

力先生の話聞いて、もっと言葉に気をつけて友達と遊びたいです。メディアの使い過ぎは、イライラや体調が悪くなることから、時間を見ながらやる工夫が大事なのが分かりました。改めて言葉やメディアの時間を工夫しながらやっていきたいです。困ったことには、1人だけでなやむのではなく、親や先生に相談するのときには大事なのが分かりました。(5年)

わたしは、力先生が言ったある言葉が「名言」みたいに聞こえました。それは、「失敗は失敗じゃない。失敗をおそれることが失敗だ」という言葉です。その言葉は、わたしの心にとってもひびきました。わたしは、発言など失敗を少しおそれていました。でも、失敗をおそれるのは、それこそ失敗だと思いました。なので、発言などをおそれるのはやめようと思いました。去年、教えてもらった「ともだち」という漢字。「友達」ではなく、「灯る達」と書く「灯達」。信頼できる友達を大事にしようと思いました。(6年)

今日の話聞いて、やっぱり「灯達」は大切だと思いました。わたしは仲間はずれにしたり、されたり、見たりしたことはないけど、仲間はずれや裏切るとするのは、相手を傷つけると思いました。それだけじゃなくて、信じてもらえなくなるかもしれないから、これからはしないし、している友達がいたら「だめだよ」と注意したり、「人けん集会のことを思い出して」と言ってあげたいです。一番かわいそうな人は、仲間はずれにされた人じゃなくて、仲間はずれにした人だと思いました。それは心に温度がなかったり、思いやりやさしさがなくて、わたしもそういう人にならないように気をつけます。(5年)

マラソン大会でがんばったよ！

12月7日（木）に「マラソン大会」を実施いたしました。学習発表会後から、2限終了後の休み時間を使って、かけあし運動を行ってきました。インフルエンザの流行等により練習が思うようにできない日もありましたが、練習できる日は寒さや苦しさに負けずに取り組み、ペースを考えたり、走り方を工夫して練習している姿が見られました。また、今年から大会では、記録を測定し、順位を競う「記録コース」と完走をめざす「ジョギングコース」を選択できるようにしました。かけあし運動やマラソン大会実施のために、お忙しい中、監察ボランティアに保護者の皆様、地域の皆様にご協力をいただきました。子どもたちは、その応援があったからこそ力を出し切ることができました。また、ご家庭では体調管理に気を配り、励ましていただきました。ご支援、ご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

わたしは、はしりきることができました。はじめてでどきどきしました。でも、はしることにしゅうちゅうをしていたら、まえよりもはやくなっていました。できて、うれしかったです。（1年）



マラソン大会本番の時、わたしはきんちょうしていたけど、おうえんしてくれたから、きんちょうもなくなって、走る力ももらえました。おうえんしてくれた人に「ありがとう」と言いたくなりました。（2年）



わたしは、つかれると下を向いてしまうので、前を向くことができている人はすごいなと思いました。息をいっぱいはいたりすったりして、一步一步を大またで走りました。最後にがんばって本気を出しました。（3年）

最初は、マラソン大会がもうすぐと聞いて、「いやだなあ」という気持ちでいっぱいだった。毎年、毎年いやな気持ちでやっていたので、今年ぐらい楽しい気持ちでやろうと思ってかけ足運動をしてみると、全然つかれなかった。こんなに走れたんだという気持ちでいっぱいになって、そのときはうれしかった。大会前日に友達と外コースを走りに行ってみると、なぜか体が重くて全然走れなかった。でも、と中から「がんばれ」と友達がおうえんしてくれて、そこから体が軽くなって走るのが楽しくなった。本番当日、つかれていて、あんまり速く走れなかったけど今までいやだったマラソン大会が好きになってよかったと思った。来年もまたがんばりたい。（4年）



今日はマラソン大会がありました。始める前、きんちょうしていました。でも、始まったら「がんばるぞ！」という気持ちになりました。記録じゃなくて、最後まで走ることが大事なので、最後までがんばりました。最後までがんばれたのは、おうちの人や友達や先生のおかげだなと思いました。マラソンは苦手だけど、最後までがんばったら、走り切ったという気持ちでいっぱいでした。走りきれたので、とてもうれしいです。（6年）

